

問 水田基盤整備の基本的方針は

菅澤博隆 議員（所要時間54分）

答 生産基盤の維持、省力化、効率化を進めるため、事業を推進します

基盤整備の個人負担助成を

問 平成28年3月17日に、栗山川沿岸基盤整備事業促進協議会が設立されました。水田基盤整備事業についての町の基本的な方針を伺います。

町長 これからの町の農業を考えますと従事者の高齢化や後継者不足などにより耕作放棄地などの増加が懸念されることから、水田の基盤整備をし、大規模経営の意向がある農業者や法人に集約、集積を進めていく必要があります。大規模経営体の育成を含め、生産基盤の維持、省力化、効率化を進めるために水田基盤整備事業を推進してまいります。

問 基盤整備事業の目的は理解し、でも、同意できない地権者の皆さんの中には、借り入れなどをし、経費の個人負担があったものでは、次世代に返済責任を負わせることになり、そういう方法は賛成できないという理由があります。基盤整備事業の地権者個人負担を軽減させるための町の考えをお示しください。

産業経済課長 現基盤整備事業の負担割合ですが、国が50%、県が30%、地元負担が20%で実施されています。地元負担の20%は、近隣市町でもその半分の10%を負担している事例がありますので、そういう段階になりましたら本町でも半額の助成ができるように検討してまいります。

問 残りの10%は地権者負担という一定割合を集約することにより国から助成がありますので、かなりの部分を軽減させる可能性がります。このほかに工事着工前の計画概要書作成のために10アール約3万円の経費が掛かりますが、香取市、成田市ではこのうち50%、旭市では66%を助成しています。本町でも計画概要経費の50%の助成を実施していただきたい。



町長 町としては地元負担の半額を助成したいと考えていますが、莫大な経費が掛かることですから今後の研究課題とさせていただきます。併せて多古米の値段が上がるように努力してまいります。

有害鳥獣対策の方針は

問 有害鳥獣による農作物の被害は年々増加している状況と想われませんが、現在、実施されている駆除内容について伺います。

産業経済課長 5月と9月に4日間、猟友会の皆さんに駆除を委託し、実施しています。

問 町から県に、有害鳥獣捕獲許可申請を出してあれば、わな猟については周年で捕獲できることになっていますが、本町では申請書は提出されていますか。

産業経済課長 年2回に分けて、今年度については5月1日から10月31日まで

と11月1日から3月15日までの分として許可申請して許可証をいただいています。

問 農水省が全国各市町村に野生鳥獣対策を担う鳥獣被害対策実施隊の設置を求めています。実施隊は猟友会会員、農業者、町職員、JA職員、共済組合、職員等で構成される町をあげての組織化ですが全国1000の自治体で既に組織化が達成されています。本町でもこのような組織化が必要だと思いますが方針をお示しください。

町長 現在は猟友会の皆さんのみにお骨折りをいただいておりますが、今後いろいろな方々に参加していただけるよう、被害対策防止協議会のような組織化について対応していきたいと思っております。

産業経済課長 平成29年度に町の鳥獣被害防止計画を策定してあります。実施隊につきましては今後、検討していくというところで計画に載せてあります。



町の歴史振興を

問 平成28年度に千葉市で開催された、第1回千葉氏サミットに本町を含めた11の市町が参加し、千葉氏の全国的知名度の向上や歴史、文化について日本遺産認定を目指す共同宣言がされました。町としての現状と、宣言にのっとった計画を伺います。

町長 本年の5月に、共同宣言に基づき、千葉常胤（つねな）900年を記念した第2回千葉氏サミットが開催され、各種イベントや首長フォーラム等を通じて、関係市町による協力体制の強化が図られました。町独自の取り組みとして、関心を深めていただきたいの思いから、昨年度より千葉氏に特化した年5回シリーズでの歴史講座を開催し、毎回150人程の皆さまにお集まりいただいています。今後も共同宣言にのっとり関係市町と連携を図りながら千葉氏の知名度向上を目指

し、日本遺産認定に向けた機運を高めるべく、引き続き同様の歴史講座の開催や案内板の設置等に取り組みたいと考えています。

問 千葉氏を観光や町の歴史の中心としておくとすれば、それに対応する役場内の部署の設置、人員についても継続性のある長期的な行政対応を目指すべきと考えます。

町長 歴史や文化にあふれる本町において、これらの分野に精通した、歴史的専門知識、技能を有する職員の確保は極めて重要であると認識しており、歴史文化行政の充実を図るため、長期的な視野に立ちながら専門職の採用を含め、必要な人材の育成、確保に努めてまいります。

問 千葉氏関連の由緒ある史跡として志摩城があります。戦国期の城跡遺構が明確に残っており、城跡に詳しい方と散策した折り貴重なものと指摘を受けましたが、志摩城跡周辺の考古学的な発掘が行われ



縄文時代から中世までの歴史を色濃く残す志摩城跡（塙台遺跡）

たことは。

生涯学習課主幹 志摩城跡の西側、二ノ台遺跡とその間の島ノ間遺跡等を調査しています。中世の建物の柱穴や、区画するような堀跡、溝跡が多数出ています。また、県指定文化財になっていますが弥生時代の再葬墓、いわゆる骨壺が多数出ています。島地区全

体が一つの遺跡で縄文時代から現代に続くもの、人が住んでいた形跡が多数見つかっています。

問 千葉氏宗家の墓所がある寺作地区の東禅寺に案内板の設置を予定しているとのことですが、どのような看板になりますか。

町長 多言語表記により外国人観光客にも対応しています。

生涯学習課主幹 地図型案内板で、畳一枚程の大きさで、史跡についての解説は簡潔にします。南は志摩城から北は土橋城、東は日本寺、並木城、西は多古城と千葉氏関連の史跡を記載し観光客の周遊を図る目的で作ります。

問 昨年度は観光ボランティアガイド養成講座を受け実践も経験しました。ボランティアガイドの育成は考えていますか。

町長 観光ボランティアの活動がより具体的に進んでいくように、ガイド養成講座を継続的に実施し、観光振興の核となる人材育成を図っていきたく考えています。

産業経済課長 今年度は1月、2月、3月の3回、町の史跡について学習していただいて、ご案内でできるような形で計画しています。

問 千葉氏サミットの共同宣言にのっとった計画は

高坂恭子 議員（所要時間55分）



※11の市町…岩手県一関市・宮城県涌谷町・福島県相馬市・南相馬市・千葉県千葉市・佐倉市・酒々井町・多古町・東庄町・岐阜県郡上市・佐賀県小城市